６月幼稚園だより

令和７年６月２日
千代田区立番町幼稚園
園長　美越　英宣

梅雨の恵みと共に育む子どもたちの笑顔

（番町幼稚園HP）

園長　美越　英宣

梅雨の季節が訪れ、自然の恵みが園庭を潤しています。雨の中でも子どもたちの笑顔が輝き、日々の成長が感じられるこの時期、５月に実施した親子遠足及び誕生会の様子について御紹介いたします。

＜親子遠足＞

５月８日に実施した親子遠足には、多くの保護者の方の御協力をいただきました。誠にありがとうございました。

本園での親子遠足の目的は、3学年の異年齢グループを作り、一年を通して様々な活動を行うことで、普段関わることの少ない他学年の保護者やお子様との親睦を深めることにあります。また、春の自然に触れ、季節の美しさを感じることも大切な要素です。

遠足までのストーリーとして、ジャックから届いた豆を育てるために、北の丸公園で異年齢グループが力を合わせて6人の小人からのミッションを達成し、豆の木を生長させる（シールを集める）という物語の世界観を楽しんでもらうことを考えました。このような取組を通じて、子どもたちがストーリーの世界を楽しむと共に、他学年の子どもと関わる姿を保護者の方が一緒に楽しみ、協力し合い成長する姿を共に見守ることができることにつなげました。

＜5月の誕生会＞

５月の誕生会では、3歳児2人、4歳児2人、5歳児3人のお祝いを行いました。4月生まれがいなかった4歳児と5歳児にとっては、今年度初めての誕生会となり、4歳児は初めて5歳児と合同での誕生会を経験しました。5歳児は交代で司会を務め、誕生会の運営に初めて挑戦しました。

教師による出し物として、泣いているパンジーを友達のタンポポやチューリップが励まし、みんなが笑顔になるというストーリーの劇を披露し、友達の大切さを伝えました。最後に子どもたちと共に「おはながわらった」を大合唱し、誕生会は笑顔と感動に包まれました。

誕生会を園で実施することのよさは、子どもたちが互いの成長を祝うことで、友情や協力の大切さを学ぶ機会となることです。また、異年齢の子どもたちが一緒に活動することで、自然と助け合いの精神が育まれます。

梅雨の恵みと共に、子どもたちの笑顔が輝く6月です。保護者の皆様も、この季節の美しさと共に、お子様の成長を見守り、共に喜びを分かち合っていただければ幸いです。